【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成22年1月28日(2010.1.28)

【公表番号】特表2009-520559(P2009-520559A)
【公表日】平成21年5月28日(2009.5.28)
【年通号数】公開・登録公報2009-021
【出願番号】特願2008-546830(P2008-546830)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｂ　17/00　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｂ　17/00　　３２０

【手続補正書】
【提出日】平成21年12月1日(2009.12.1)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
胃から食道への逆流を治療するのに適した医療器具であり、弁部材を備え、
当該弁部材は、
食道と胃との間の物質の通過を補助する開口形体と、閉塞形体との間を動くことができ、
前記弁部材は、所定の期間に亘って、前記開放形体から閉塞形体へと徐々に動く構造とされており、
当該医療器具は、前記閉塞形体へ向けて付勢されており、
前記弁部材が、当該医療器具内を物質が通過したときに、前記閉塞形体から開放形体へと動かされる構造とされていることを特徴とする医療器具。
【請求項２】
請求項１に記載の医療器具であり、
前記開放形体において、前記弁部材は、食道から胃への物質の通過を補助する構造されていることを特徴とする医療器具。
【請求項３】
請求項１又は２に記載の医療器具であり、
前記開放形体において、前記弁部材は、胃から食道への物質の通過を補助する構造とされていることを特徴とする医療器具。
【請求項４】
請求項１～３のうちのいずれか一の項に記載の医療器具であり、
前記所定の期間が１秒以上であり、少なくとも４秒であり、２０秒より短く、１０秒以下であることを特徴とする医療器具。
【請求項５】
請求項４に記載の医療器具であり、
前記所定の期間が４～１０秒であることを特徴とする医療器具。
【請求項６】
請求項１～５のうちのいずれか一の項に記載の医療器具であり、
前記弁部材が粘弾性材料からなることを特徴とする医療器具。
【請求項７】

請求項１～６のうちのいずれか一の項に記載の医療器具であり、
前記弁部材が発泡材であることを特徴とする医療器具。
【請求項８】
請求項１～７のうちのいずれか一の項に記載の医療器具であり、
前記弁部材がポリウレタン材料からなることを特徴とする医療器具。
【請求項９】
請求項１～８のうちのいずれか一の項に記載の医療器具であり、
前記弁部材が１以上の弁膜を備えていることを特徴とする医療器具。
【請求項１０】
請求項９に記載の医療器具であり、
前記弁膜がほぼ径方向内方へ延びていることを特徴とする医療器具。
【請求項１１】
請求項９又は１０に記載の医療器具であり、
前記弁膜が収縮形体と拡張形体との間を動くことができることを特徴とする医療器具。

【請求項１２】
請求項１１に記載の医療器具であり、
前記弁部材が開放形体にあるときに、前記弁膜が収縮形体にあることを特徴とする医療器具。
【請求項１３】
請求項１１又は１２に記載の医療器具であり、
前記弁部材が閉塞形体にあるときに、前記弁膜が拡張形体にあることを特徴とする医療器具。
【請求項１４】
請求項１～１３のうちのいずれか一の項に記載の医療器具であり、
前記弁部材が当該器具の末端の基端側に配置されていることを特徴とする医療器具。
【請求項１５】
請求項１～１４のうちのいずれか一の項に記載の医療器具であり、
前記弁部材が当該器具の基端の末端側に配置されていることを特徴とする医療器具。
【請求項１６】
請求項１～１５のうちのいずれか一の項に記載の医療器具であり、
当該器具は、当該器具を食道及び／又は胃に対して支持するための少なくとも１つの支持部材を備えていることを特徴とする医療器具。
【請求項１７】
請求項１６に記載の医療器具であり、
前記支持部材が前記弁部材の末端側に配置されていることを特徴とする医療器具。
【請求項１８】
請求項１６又は１７に記載の医療器具であり、
前記支持部材が前記弁部材の基端側に配置されていることを特徴とする医療器具。
【請求項１９】
請求項１６～１８のうちのいずれか一の項に記載の医療器具であり、
前記支持部材が前記弁部材に対して同軸状に配置されていることを特徴とする医療器具。
【請求項２０】
請求項１９に記載の医療器具であり、
前記支持部材が前記弁部材の周囲に同軸状に延びていることを特徴とする医療器具。
【請求項２１】
請求項１６～２０のうちのいずれか一の項に記載の医療器具であり、
当該器具は、末端の支持部材と基端の支持部材とを備えていることを特徴とする医療器具。

【請求項２２】
請求項１６～２１のうちのいずれか一の項に記載の医療器具であり、
前記支持部材がステントからなることを特徴とする医療器具。
【請求項２３】
請求項１６～２２のうちのいずれか一の項に記載の医療器具であり、
前記支持部材が、当該器具を食道及び／又は胃の壁に固定するための少なくとも１つのアンカー部材を備えていることを特徴とする医療器具。
【請求項２４】
請求項１６～２３のうちのいずれか一の項に記載の医療器具であり、
前記支持部材が少なくとも１つの支持リングを備えていることを特徴とする医療器具。
【請求項２５】
請求項１～２４のうちのいずれか一の項に記載の医療器具であり、
当該器具が、食道及び／又は胃の内面の一部分を被覆するためのライニング部材を備えていることを特徴とする医療器具。
【請求項２６】
請求項１～２５のうちのいずれか一の項に記載の医療器具であり、
食道及び／又は胃の内面に薬剤を給送する構造とされていることを特徴とする医療器具。
【請求項２７】
請求項１～２６のうちのいずれか一の項に記載の医療器具であり、
当該医療器具を配備位置に給送するための給送形体と、前記配備位置において配備するための配備形体とを有することを特徴とする医療器具。
【請求項２８】
治療薬を消化管へ給送するのに適した医療器具であり、
治療薬給送部材を備え、
前記給送部材が少なくとも１つの穴を備え、
前記給送部材が治療薬を貯蔵するための貯蔵空間を形成している、ことを特徴とする医療器具。
【請求項２９】
医療器具を、消化管内の治療位置へ給送するための給送装置であり、
給送カテーテルを備え、
当該給送カテーテルは、医療器具を少なくとも部分的に配置することができる収容空間を有している給送装置。
【請求項３０】
請求項１～２８のうちのいずれか一の項に記載の医療器具と、
当該医療器具を、請求項２９に記載の消化管内の治療位置へ給送するための給送装置と、
を備えたキット。